

2020年12月7日
 一般社団法人日本鉄鋼連盟
 標準化センター事務局

2020年度 第2回鋼材規格三者委員会 議事録

1. 日時： 2020年12月2日（水）13:30～16:15

2. 場所： Web会議

3. 出席者：（敬称略）

（委員長）榎 委員長（東京大学教授）

（副委員長）田中 副委員長（東京理科大学名誉教授）、藤原 副委員長（EMF応用計測）

（委員）相川（日本水道協会）、伊藤（ISO TC156国内対応委員会委員長）、岩田（建築研究所）、大瀧（日本アルミニウム協会）、木村（大同特殊鋼）、熊井（日本検査キューエイ）、桑原（東京農工大学）、高木（日本機械工具工業会）、竹内（東京工業大学）、田之上（火力原子力発電技術協会）、堤（日本規格協会）、中澤（JFEスチール）、野呂（日産アーク）、藤田（日本金属継手協会）、富士原（日本試験機工業会）、松本（日本製鉄）、山口（土木学会）

（委員長・副委員長・委員計20名）

（関係者）大竹（経済産業省）

（関係者計1名）

（幹事）阿部（日本鉄鋼連盟）

（事務局）寺澤、石川、井田、木村、越川、坂橋、楠野、玉田、山本（日本鉄鋼連盟）

（事務局計10名）

4. 議題と配布資料

4.1 審議事項

1) 前回議事録案の確認

資料0-1 2020年度 第1回鋼材規格三者委員会議事録（案）

2) 改正 審議

資料2及びコメント回答 JIS G 3192 熱間圧延形鋼の形状、寸法、質量及びその許容差

資料3及びコメント回答 JIS G 3350 一般構造用軽量形鋼

資料4及びコメント回答 JIS G 3126 低温圧力容器用炭素鋼鋼板

資料5及びコメント回答 JIS G 3459 配管用ステンレス鋼鋼管

資料6及びコメント回答 JIS G 3468 配管用溶接大径ステンレス鋼鋼管

資料7及びコメント回答 JIS G 0583 鋼管の自動渦電流探傷検査方法

資料8及びコメント回答 JIS G 0586 鋼管の自動漏えい（洩）磁束探傷検査方法

資料9及びコメント回答 JIS G 3507-1 冷間圧造用炭素鋼－第1部：線材

資料10及びコメント回答 JIS G 3508-1 冷間圧造用ボロン鋼－第1部：線材

資料11及びコメント回答 JIS G 3509-1 冷間圧造用合金鋼－第1部：線材

資料 12 及びコメント回答 JIS G 3311 みがき特殊帯鋼

資料 13 及びコメント回答 JIS G 3141 冷間圧延鋼板及び鋼帯

資料 14 及びコメント回答 JIS Z 2245 ロックウェル硬さ試験－試験方法

3) 定期見直しの計画リストの審議

資料 15 2021 年度 定期見直しの計画リスト

4.2 報告事項

1) 金属・無機材料技術専門委員会について

資料 1-1 第 24 回金属・無機材料技術専門委員会（報告）

2) 資料 1-2 認定産業標準作成機関としての活動状況

5. 議事内容及び結果

委員会成立の確認：委員数 30 名に対し出席委員数 20 名で過半数を満たしており、委員会が成立。

榎委員長のご挨拶の後、以下の議事が進められた。

5.1 幹事から前回議事録の報告がなされた。

前回議事録は、会議後に既に回付されており、特に異議がなく承認された。

5.2 寺澤事務局長から、第 24 回の金属・無機材料技術専門委員会について報告された。

5.3 幹事から、認定産業標準作成機関としての活動状況について報告された。

5.4 審議案件の改正案 13 件について鉄鋼連盟の事務局より改正内容の説明がなされ、質疑応答がなされた。審議内容及び原案修正点は、規格ごとのコメントテンプレートに記載された。

いずれも審議結果を原案に反映することとして承認された。

5.5 幹事から、2021 年度 定期見直しの計画リストについて説明された。審議後、承認された。

5.6 その他

幹事から 2021 年度の鋼材規格三者委員会として 2 回開催する予定であることが説明された。

日程は、委員長と相談の上、別途連絡することになった。

以上